

## 学生のグループ学習とピアサポートシステムの構築と充実

医療福祉学科 綾野 眞理

医療福祉学科 上原 俊介

I R 推進室 羽田 千晶

法人事務局企画課 加藤 裕行

### 【要旨】

本学では友達作りが苦手、勉強について行けないなどさまざまなストレスを抱えている学生が多く見受けられる。このような学生に対しては、学生相談室のような学生支援だけでなく、学生同士が助け合えるピアサポートシステムが有効であると思われる。また、将来、医療人として社会に貢献できる人材を育てる上でも効果が期待される。そこで、学習グループとピアサポートシステムの構築と充実をめざし、1. 教育、2. 実践、3. 継承の3つの視点から提案する。

### 1. 教育

#### 初年度

- ① 1年生に対し、医療人底力実践（基礎）の中でピアサポートに関する入門的授業を行う。
- ② ピアサポート活動企画の体験  
他大学のピアサポーターグループに特別講師を依頼する。
- ③ ピアサポーターを募集し、レベルアップのためのトレーニングを行う。  
募集のために、ピアサポーターになることの利点をアピールする。

2年目以降：他大学の学生の代わりにピアサポーターにも企画、運営に参加してもらう。

### 2. 実践

ピアサポーターが中心となって活動の企画、運営を行う。教職員（例：学生相談室相談員ほか）がトレーニング、助言をしながら活動を支える。また、活動の内容によって、関連する教職員がピアサポーター学生の求めに応じて、指導、助言、協力する。

- ① 各種行事を企画運営する。
- ② 学生にとって有効な情報の提供（インターネット、その他の方法を利用）

活動によっては、協力メンバーを募集したり、サークルや部活などとのコラボレーションを行ったりする。

《活動例》

- ◇ 新入生サポートプログラム：行事の企画や情報提供
- ◇ 学修支援プログラム
- ◇ 就職活動のためのサポートプログラム
- ◇ 学外コンテスト等への参加（例：三重県フォトコンテストなど）
- ◇ スポーツ大会、駅伝、ダンスパーティーなどの企画、運営

### 3. 継承

- ① 全学生のタテ割りグループを作る。各学年4，5名程度のグループを学科ごとに作り、交流を図り、上級生から下級生への学生生活、マナー、学修面の情報の継承が行われる仕組みを作る。
- ② 教育の2年目以降、上級生（ピアサポーターと有志）が新1年生の教育に参加し、募集を行う。

学生のグループ学習とピアサポートシステムの構築と充実のイメージ図

